

市区町村名	内子町	担当部署	総務課 政策調整班
		電話番号	0893-44-6151

1 取組事例名

内子町オンラインコミュニティ運営事業

2 取組期間

令和3年9月～（継続中）

3 取組概要

「ボイスチャットアプリディスコード」を活用したオンラインコミュニティのプラットフォームを構築し、チャットやラジオ放送により、内子町の暮らし、文化、生活環境、食、自然環境、教育環境などの情報を発信することで、内子町に関心を持つ関係人口の増加を図り、将来的な観光客、移住者、産業の担い手などの獲得を目指している。

4 背景・目的

人口流出による産業の担い手不足に歯止めがかからず、加えて新型コロナウイルス感染症の影響により、観光客は激減。また、コロナ禍の中首都圏での移住相談もできないことから移住者の獲得にも影響がでていたため、新たな対策を打ち出す必要があったため。

5 取組の具体的内容

「ボイスチャットアプリディスコード」を活用したチャット機能やラジオ機能を活用したオンラインコミュニティ。テーマごとに部屋を作り、チャットによる情報発信や交流、情報収集ができる。加えて、ラジオ放送も可能で、月に2回程度地元のキーマンが生声を届けている。画面共有機能により音声+画像による配信も可能で、過去のラジオ放送をアーカイブで視聴することもできる。チャット機能やラジオ放送で内子町の暮らし、文化、生活環境、食、自然環境、教育環境などの情報を発信することで、参加者はオンライン上で内子町の情報に触れることができ、現地を訪れていなくても内子町への関心を高めることができる。そういった内子町に関心を持つ関係人口の増加を図り、将来的な観光客、移住者、産業の担い手などの獲得を目指している。

6 特徴（独自性・新規性・工夫した点）

- ・ラジオ放送はアーカイブで過去のラジオ放送を視聴できるようにしている。
- ・専門的な知識のある者に運営を委託することで、コミュニティ上のトラブル対応等もしっかりと対応できる。

7 取組の効果・費用

令和3年9月27日から取組みを開始。令和3年度末の会員登録者数は176名で、普段の何気ない暮らしなどの情報を発信することで移住相談実績が6件あった。また、募集停止の危機にあった県立内子高等学校小田分校への県外からの留学希望生徒からの相談もあり、実際にオンラインコミュニティ利用者の中から3名が小田分校へ入学したこともあり、小田分校の募集停止の危機を脱することができた。高校が地域に残ることは経済の循環をはじめとした地域活性化に大きく寄与することであり、その効果は非常に大きいものである。

令和3年度内子町オンラインコミュニティ構築・管理運営事業：1,100千円

8 取組を進めていく中での課題・問題点（苦勞した点）

特になし

9 今後の予定・構想

引き続き、チャット機能やラジオ放送を活用した情報発信や交流を行う。また、オンライン上で交流している方々に内子町へ実際に来ていただいて内子町を堪能していただく「リアルイベント」を検討中。

10 他団体へのアドバイス

特になし

11 取組について記載したホームページ

<https://www.town.uchiko.ehime.jp/site/ijyu/>

※リンクを貼っています